



NEW STAFF

## 新人自己紹介

## 塚本 寿夫

つかもと・ひさお

生命・錯体分子科学研究領域  
生体分子情報研究部門 研究員

2011年の7月1日にアメリカのOregon Health and Science Universityから分子研に異動しました。これまで蛍光標識や生化学的な手法を用いて、動物の光受容タンパク質ロドプシンの機能発現メカニズムを解析してきました。これからは、古谷先生・木村先生と共同して赤外分光などを組み合わせて膜タンパク質の解析を進めていきたいと思いません。よろしくお願ひ致します。

## 大東 琢治

おおひがし・たくじ

極端紫外光研究施設  
電子ビーム制御研究部門 助教

筑波大学で学位取得後、東北大学、SPring-8、立命館大学を経て、8月より分子研UVSORの助教として着任致しました。X線顕微鏡開発を礎に、広い視野を以て研究に臨みたいと思ひます。

宜しくお願ひ致します。

## 近藤 美欧

こんどう・みおう

生命・錯体分子科学研究領域  
錯体物性研究部門 助教

東京大学大学院理学系研究科にて学位取得後、日本学術振興会特別研究員、JST ERATO北川統合細孔プロジェクト博士研究員を経て、2011年8月1日付で分子研正岡グループの助教に着任いたしました。学生時代から錯体化学を専門として研究を行ってきました。現在は、金属錯体を利用した触媒開発という今までとは少し異なる分野で研究を始めたところです。まだまだ勉強しなければならないことは多いですが、毎日楽しく研究をしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 藤澤 敏孝

ふじさわ・としたか

生命・錯体分子科学研究領域  
生体分子情報研究部門 総研大・客員教授

2007年に三島の遺伝学研究所を定年退職し、その後2年間ハイデルベルク大学で客員、帰国後基生研の小林研究室で特別協力研究員をしました。思いがけず、本年9月1日から総研大の「統合生命科学教育プログラム」のプログラム長として、本務先は分子研で勤務することになりました。何とかして本プログラムを意義のあるものにしたいと考えておりますが、皆様のご協力なしには不可能ですので、ご協力、ご提言をよろしくお願ひ申し上げます。

## 矢崎 稔子

やざき・としこ

生命・錯体分子科学研究領域  
生体分子機能研究部門 技術支援員

4年ぶりに分子研に戻って参りました。10月にスタートした「統合生命科学教育プログラム」の遠隔講義配信を担当しております。新人としてドキドキしながら新しい仕事に向き合う一方で、懐かしい顔に再会して里帰りした気分になることも……。

岡崎から発信した授業が、全国の総研大生のビッグな研究のヒントとなってくれることを願いつつ、自分も少しだけ学生気分を味わいながら、管理画面を見守る毎日です。